2024年度　誓いの言葉

本日は私たち新入社員のためにこのような盛大な式を開催していただき、誠にありがとうございます。新入社員一同を代表し心より御礼申し上げます。

坂本社長から温かい歓迎の言葉をいただき、社会へ一歩足を踏み入れたことを改めて実感し、身が引き締まる思いです。いただいたお言葉を肝に銘じ、業務に励んで参りたいと決意を新たにしております。

今年の元日に能登半島地震が発生しました。報道されるたびに、13年前に発生した東日本大震災による激しい揺れに襲われた恐怖感と変わり果てた街の姿に愕然としたことや、長期停電による暗闇での不自由な生活の中、それまで当たり前に存在していた電気のありがたみを痛感したこと等が思い出されました。今回の能登半島地震においても、被災地の停電復旧に向け尽力されていた各電力社員の姿を報道で目にし、インフラの中のインフラと言われる電力を守るという重要な使命を全うしていかなければならないと強く感じています。私はこの度，送電部門に配属となりました。広大な面積を誇る東北・新潟地域に張り巡らされた送電線を通じて、お客様へ電気をお届けし、人々の生活の一端を担う仕事に従事できることを大変誇りに思います。この重要な責務を全うすべく，1日でも早く社会に貢献できるよう、日々技術、技能の向上に向けて精一杯精進してまいります。

現在、新形コロナウイルスによる行動制限から日常生活が戻りつつある一方、世界的なエネルギー価格の高騰や脱炭素化に向けた原子力発電所の再稼働など、東北電力グループを取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。このような大きな転換点において、東北電力ネットワークにおいてもお客様や地域に寄り添いながら主体的に挑戦・変革を進めることで地域とともに持続的に成長し続けることが必要です。私たち新入社員は社会人 1 年目で右も左もわからない未熟者ではありますが、東北・新潟地域への電力の安定供給に対する気持ちは同じであり、先輩方に続いて私たち一人ひとりも新たな成長に向けて挑戦していく覚悟でございます。1日も早く、戦力となれるよう精一杯努力いたしますのでどうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本日賜りました、お言葉を胸に刻み、いつまでも忘れることなく、東北電力ネットワークの社員であることを誇りとし、社長をはじめ先輩方が築いて来られた会社の名に恥じないよう日々励んでまいることをここにお誓いし、新入社員代表の言葉とさせていただきます。

2024年4月1日　新入社員代表　山田　文斗